



八王子国際フレンドからのメッセージ



韓国



プロフィール

留学生

【朴 政泰 (パク ジョンテ)】

韓国釜山出身

日本在住 5年目

🍁 日本での暮らしと母国の紹介 🍁

皆さん、こんにちは。韓国からの留学生の朴政泰(パクジョンテ)と申します。来日して今年で5年目になりますね。現在は八王子市にある大学で安全保障及び国際政治を専門として勉強しています。日本に来てから色々な驚きやカルチャー・ショックがありましたけど、今は日本の生活にすっかり慣れてしまって少し残念(?)に思っています。僕が残念に思っているのは、日本人の心を学ぼうとし、日本語で考えているうちに来日した当初のときめきや驚きがなくなりつつあるからです。いいことが悪いことが分かりませんが、今は自分が半分日本人になったかなあと思っています。

ここで地元である韓国釜山について紹介したいと思いますが、その前にまず韓国について少し話したいと思います。皆さんもご存知だと思いますが、韓国は近年マスコミの的になっている北朝鮮との間に軍事境界線を挟んで今なお緊張感が漂っています。僕も約3年弱の兵役経験がありますが、自分にとっていい経験だったと思います。規律ある生活や訓練の中で、肉体的にも精神的な面でも男として強くなった気がします。韓国について少し紹介したいと思いますが、人口や面積、観光地などを紹介するより、韓国の歴史や現状の裏話をしたほうがいいと思います。近代以前の朝鮮半島では、朱子学を国是とした「朝鮮王朝」が存在しました。その後は第二次世界大戦直後に「大韓民国」と「朝鮮民主主義人民共和国」という二つの国に分かれてしまいました。この二つの国は朝鮮王朝の遺物を一つずつ分け合ったという話があります。韓国は太極旗という国旗を受け継いで、北朝鮮は朝鮮という名前を受け継いだとい

うことです。現在韓国の国旗である太極旗は、朝鮮王朝が滅びる前に近代化を進める最中に作られたものです。それが韓国の今の国旗になったわけです。そして、北朝鮮の正式な国名は朝鮮民主主義人民共和国ですが、もちろん朝鮮王朝の名前をそのまま受け継いだものです。

このように、韓国と北朝鮮は朝鮮王朝から二つの遺物を分け合いました。しかし、両国が朝鮮王朝から同じく受け継いだものもあります。それは儒教という思想に基づく考え方です。例えば、現在両国は自由主義と社会主義という異なる政治システムをとっていますが、その異なる政治理念の根底にも同じ儒教的な考え方があると言われていています。韓国が普通「儒教の国」と呼ばれるのも朝鮮時代からの儒教の影響が未だに根強く残っているからだだと思います。そして、北朝鮮の独特な社会主義システムの精神的な支えも儒教だという学者もいます。例えば、上様に対する絶対的な服従などがそれですね。でも、残念ながら最近は、韓国の若者に目上の人やお年寄りに対する礼儀などがなくなっているという話をよく耳にします。これからますます儒教に基づく礼儀や考え方が少し変わっていくのではないかと思います。

今度は地元釜山について話してみましようか。釜山は日本からも近くて、晴れた日には日本の長崎県の対馬が見えるほどです。僕が昔住んでいたところでは、衛星アンテナがなくても日本の放送が映ったりしました。その当時は日本語の勉強をしていなかったのでも、何を言っているかぜんぜん分かりませんでした。釜山は韓国第2の都市であり、世界有数の港湾施設を持つ港町です。新鮮な刺身や綺麗なビーチで有名です。また、毎年開かれる釜山国際映画祭は、世界で最も躍動的な映画祭の一つとして知られています。釜山の中心部の龍頭山公園にある釜山タワーから見える釜山市内と釜山港を一度体験してみたほうがいいと思います。右の写真が釜山タワーから見た釜山の中心部と釜山港の夜景です。香港の夜景ほどではないと思いますが、ずいぶん綺麗だと思うのは自分が釜山出身だからかもしれませんね。日本に九州男児という言葉があるように、韓国でも釜山サナイ(男らしい人)という言葉があります。釜山の男は口数が少ないことで有名です。冗談交じりで釜山のお父さんが退勤後、家で口を開くのは3回しかないという話があります。まず、チャイムがなって中からどちら様ですかと聞かれたら「俺だ」、次に玄関に入って「飯くれ」、最後にご飯を食べ終わったら「寝よう」ということしか言わないということです。もちろん冗談ですが、そのくらい釜山の男は口数が少ないことで韓国でも有名です。まあ、自分が釜山サナイかどうかはよく分かりませんが。



これまで、韓国や地元釜山について少し紹介してみましたが、何か物足りない気がします。次回にまたチャンスがあればいろんなことについて話してみたいと思います。また、自分の日本体験についてもぜひ話してみたいと思います。それでは、皆さんさようなら。